



10月27日～11月9日は読書週間です

2026年の読書週間標語は「静かだけど、冒険中。」



◎本との出会いを

図書館には、約18万冊の本や275タイトルの雑誌があります。月替わりでいろいろなテーマの本を集めた展示、新しく入った本・新聞書評に掲載された本のコーナーもあります。図書館でたくさんの本と出会い、お気に入りの本を見つけてください。

◎本を探す・何かを調べる

図書館では、疑問に思ったこと、知りたいことを調べるお手伝いをしています。読みたい本が見つからないときや、調べたいことがあるけど、どの本を見ればいいのかわからないときは、お気軽に職員にお声かけください。



◎図書館でのイベント

おはなし会やえいが会、コンサートなど、いろいろな行事をしています。気になるイベントがあれば、ぜひご参加ください。

◎図書館の情報発信

図書館の行事などの情報は、図書館のホームページや図書館だより、広報ひの、フェイスブック、日野め〜るなどでお知らせしています。ぜひご覧ください。



ホームページ



フェイスブック

◎図書館ホームページの便利な使い方

図書館ホームページの「利用者のページ」をご存じですか？

利用者のページでは、借りている資料の返却日や予約状況の確認ができます。また、ご自身で貸出期間の延長もできます（延長期間は手続きした日から10日間。延滞資料や貸出期間が1週間の資料、他館から借りている資料の延長はできません）。

※ご利用には利用券番号とパスワードが必要です。パスワードはホームページで発行できます。ご不明な点がございましたら、図書館までお尋ねください。

また、今年2月にホームページを少しリニューアルし、新しい機能を追加しました。詳しくは、右記の二次元コードからご覧ください。



ホームページ
リニューアルについて

問

日野町立図書館 ☎ 0748-53-1644



本の紹介

スマホで100倍楽しくなる!50歳からの推し活入門

劇団雌猫 著 弁護士松下真由美 部分監修
株式会社インプレス

推し活(ファン活動)をするのは何歳になっても楽しいもの。しかし、今や推しの情報収集にはスマホやSNSの利用が必要不可欠です。SNSの利用方法や個人情報の保護など難しいことも多く発生します。この本では、推し活をするうえでのSNSやスマホの便利機能や気を付けたいポイントが紹介されています。



図書館からのお知らせ

こども・若者プレイスを利用しませんか

金曜日の午後、視聴覚室を「こども・若者プレイス」として若者のみなさんに開放しています。放課後、ちょっと友達とおしゃべりや宿題をしたい。ゆっくり、ひとりで本を読みたい。そんなときは図書館で過ごしてみませんか？

日時 毎週金曜日 14:00~20:00

※会場の使用状況により、休止や金曜日以外の開放となることがあります。

場所 視聴覚室

対象 小学生~高校生くらいの方



問 日野町立図書館 ☎0748-53-1644

10月							11月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29

■…休館日 ◇…図書館ちびっこ広場 ○…おひざでだっこのおはなし会
□…えいが会 ○…おはなし会

※10月15日(木)~22日(木)は蔵書点検のため休館します。

行事予定

「おはなし会」 10月10日(土)11:00~(30分程度) テーマ「おつきみ」

「おひざでだっこのおはなし会」 10月24日(土) 11:00~(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

「図書館ちびっこ広場」 10月14日(水) 10:00~12:00
0~3歳のお子さんが対象です。

「えいが会」 10月25日(日) 14:00~
『ラストマイル』2024年/日本(128分)

黒海のほとりにジョージアという国があります。日野町からはおよそ8000キロ。この遠い国から9月上旬、イラクリ・メズルニシユビリ国會議員、ティムラズ・レジャバ駐日ジョージア特命全權大使、ヴァフタング・マイスラゼカスピ市長らの使節団が日野町にお越しになりました。今年3月に石塚英樹(いしづかひだき)在ジョージア日本国特命全權大使ほか関係者の方々をお迎えして意見交換をしたのが始まりで、今回の本格的な訪問につながりました。

なぜ日野町なのか。理由は、彼らの祖先の生き方にありました。カスピ市周辺はシルクロードの商人たちが行き交った地。そこでは商売で得た利益を、自分のためではなく社会のために使うことが誇りとされてきたといえます。「陰徳善事」を旨とし、商いの利益を寺社や祭りにとどまらず、教育や地域のために惜しみなく

青雲之志

~町長コラム~

日野町長 堀江 和博

二つの商人の道

貢献してきた近江日野商人。時代も言葉も違う二つの土地で、同じ精神が息づいていたのです。使節団の皆さんは日野商人の話に何度も頷き、目を輝かせておられました。

もう一つ縁がありました。ジョージアは約8000年前にワインが生まれた、いわば酒の故郷です。日野商人の多くは醸造業に携わり、今日でも全国には日野商人ゆかりの酒蔵がたくさんあります。また、18年前に日本最古の国産ワインが近江日野商人館で見つかったこともあり、その資料をご覧になった皆さんは大変驚かれ、「次は日野との関係を表すドキュメンタリーをつくりたい」とまで言っていたいただきました。近江日野商人ふるさと館では、日野祭の曳山囃子を聴いていたとき、日野町の伝統文化の魅力に深く感動されていました。

さて、この度のご訪問は、今後大切にするべき貴重なご縁だと思っています。互いの地を行き来し、互いの歴史や伝統を学び合い、互いのお酒で乾杯する。そんな交流を、行政だけでなく町民の皆さんと一緒に育てていきたいと考えています。人口約370万人の小さな国と、小さな町・日野町。小さい者同士だからこそ、それぞれの誇りを認め合える関係が築けると信じています。